

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 初任者向けマニュアルの充実を目指して

【背景と目標】 氷見市内14校に勤務する事務職員は年々経験年数の両極化が進み、今年度は副主幹2名・再任用4名・主事5名・臨任4名が配置されている。他市町村からの異動も多く、氷見市業務に関しては経験年数にかかわらず苦労している実情を改善できたらと考える。

【協働・取組】 今年度から始まった共同実施は前年までの事務職員協議会の活動を基にしている。その中では「手引き」が多く作成されているが、内容の更新が追いつかずうまく活用できていない。業務内容における共同では3部会にわかれ、その更新作業を中心に取り組んでいる。

【成果と課題】 服務・財務等業務別に作成されている「手引き」は、氷見市初心者には便利な反面、内容が重複しているものが多く、複数の「手引き」を同時に更新する必要があることが分かった。今あるものを有効活用しながら維持管理していくためには数の見直しが必要ではないか。

【教訓】 便利なものも、管理できなければ意味がなくなる。これからは維持しやすいに重点を置き、Teams等を利用して業務改善に繋げていきたい。

- (参考例)
- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
 - ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
 - ③ 環境整備の実践
 - ④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
 - ⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	4	5